

地方創生推進交付金に係る事業評価

交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	担当課	事業費 (円)	うち 交付金 充当額 (円)	外部有識者の評価
KJブランド創出プロジェクト ～深化バージョン～	○KJブランド認証品認証制度 ・町内にある優れた商品や製品、農産物等を「KJブランド認証品」として認証し、町とタイアップしたPRを広く町内外に発信し、地域経済の活性化と町の知名度アップにつなげる	・第1回の認証で21品、第2回に9品認証し、現在30品目をKJブランド認証品としている。 ・広報紙のほか町HP、KJブランドサイト、各種WEBメディアやイベント、SNSにて情報発信し、町内外にPRした。	政策推進課	12,465,626	6,232,813	現在は制度の周知の段階であるため、厳格な基準は設けていないが、今後はブランドの品質やイメージを保つため、一定の基準を設けた方が良い。
	○情報発信の強化 –ウェブメディアと連携 ・KJブランドを中心に、町の地域資源などの魅力を発信するオリジナルのウェブコンテンツの企画・取材・撮影・制作を行い、既存のウェブメディアを通して発信していく。	・食材や風土、地域の魅力を国内のみでなく海外にも発信しているWEBサイト「SHUN GATE」に特集記事を掲載。また、KJブランドサイトと連動した展開を実施。 ・SHUN GATEのフェイスブックやインスタグラム、連携サイトにおいても定期的に情報発信をした。	政策推進課			・川島町の知名度は依然として低い。川島町を知ってもらいたい機会となったが、今後も工夫したPRを継続するべきである。 ・食材を活用した事業については、今後も川島産の食材についての認知が広がり、販路拡大につながるよう継続した取組が必要である。
	○情報発信の強化 –都内での物産展の実施 ・川島町産の食材や加工品、KJブランド認証品、町の観光資源のPRを目的に、首都圏在住者をターゲットとした物産展イベントを開催する。また、町内事業者の販路拡大にもつなげる。	・浅草の大型商業施設「まるごとにつぼん」において、平成30年10月26日～28日の3日間、地域ブランドの認知拡大や特産品との販路拡大を目的とした物産展を実施した。 ・3日間で28,000人が来場し、町や特産品の魅力をPRした。	政策推進課 農政産業課			
	○飲食店プロモーションの実施（都内3店舗） ・首都圏在住者を対象に川島町の食材を体験してもらい機会を創出するための飲食店プロモーションを実施する。	・平成30年10月～11月にかけて、東京都文京区の「小石川テラス」、台東区の「café M/N」、中央区の「Hama House」において川島産の食材を使ったメニューによるプロモーションを実施。 ・食材を使用したプロの料理人や、来店した首都圏在住者からのヒアリング結果を町内事業者にフィードバックした。 ・使用する食材を川島町内で購入し、販路拡大の機会創出を図った。	政策推進課 農政産業課			
	○6次産業化の推進 ・町内の6次産業化の取組みを促進することを目的に、農産物加工等の取組みのサポートを行う。	・6次産業化に興味のある6者を対象に、委託製造による商品化を含めた農産物加工の取組みのサポートを実施した。 ・商品開発に携わる専門家、食品バイヤー等を招聘して商品进行评估し、底上げに繋がる提案を行う加工品品評会を実施した。 ・いちじく生産組合を対象に、町内外の食製造事業者が一堂に会する交流会を開催した。	農政産業課			・新商品の開発や、既存商品の見直しの際は、消費者に選ばれるパッケージやネーミングとすることを重視する必要がある。 ・酒類については、販売方法やPRの仕方を工夫した方が良い。

地域再生計画に係る重要業績評価指標（KPI）				(参考)
指標	基準値（H27）	目標値（H30）	実績値（H30）	目標値（H32[R2]）
KJブランド販売額 (米・いちじく・いちご) (年間)	302,000千円	356,000千円	269,043千円	392,000千円
農産物直売所の売上額 (年間)	303,758千円	358,443千円	307,175千円	394,885千円
新規就農者数 (累計)	1人	11人	12人	50人
新規ブランド品開発数 (累計)	0品	1品	7品	3品